



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月30日

上場会社名 マクセル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6810 URL <https://www.maxell.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 啓次
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション本部長 (氏名) 高橋 誠司 (TEL) 03-5715-7061
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	65,620	0.6	4,566	85.5	6,001	55.9	4,934	57.1
2023年3月期第2四半期	65,205	△5.9	2,461	△60.0	3,850	△40.1	3,140	△20.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 8,528百万円(1.0%) 2023年3月期第2四半期 8,442百万円(79.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	107.66	—
2023年3月期第2四半期	64.62	—

(注)「業績連動型株式報酬制度」を導入しており、信託が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	168,989	93,521	53.4
2023年3月期	168,177	85,940	49.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 90,283百万円 2023年3月期 82,816百万円

(注)「業績連動型株式報酬制度」を導入しており、信託が保有する当社株式を自己株式として計上しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	20.00			
2024年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	130,000	△2.1	7,500	33.0	5,800	11.7
						126.56

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 「業績連動型株式報酬制度」を導入しており、信託が保有する当社株式を「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	49,695,800株	2023年3月期	49,695,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,852,132株	2023年3月期	3,871,367株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	45,828,590株	2023年3月期2Q	48,589,932株

(注) 1. 期末自己株式数には、「業績連動型株式報酬制度」により信託が保有する当社株式 (前連結会計年度16,800株、当第2四半期累計期間15,700株) を加算しております。

2. 期中平均株式数(四半期累計)は、自己名義所有株式分を控除する他、「業績連動型株式報酬制度」により信託が保有する当社株式 (前第2四半期累計期間18,167株、当第2四半期累計期間16,535株) を控除して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の作成日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に係る様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知置きください。上記予想の前提条件、その他関連する事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は2023年10月31日に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催します。当日使用する決算説明会資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
< 補足資料 >	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、日本国内については緩やかな回復傾向となりましたが、米国、欧州における金融引き締め策の継続による景気減速、中国における不動産不況など内需の低迷や米中貿易摩擦などに起因した輸出入や投資の減少など、景気低迷の長期化が懸念される状況となりました。当社を取り巻く事業環境としては、コスト面では原材料費高騰は落ち着いてきたものの電動力費は高止まりしています。需要面では、自動車市場が回復傾向に向かう一方で半導体市場は低迷が継続するなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと当第2四半期連結累計期間の売上高は、車載光学部品やライセンス収入などの増収が国内コンシューマー製品販売事業の移管による減収をカバーし、前年同期比0.6%（415百万円）増（以下の比較はこれに同じ）の65,620百万円となりました。利益面では、車載光学部品の販売やライセンス収入による増益に加え健康・理美容製品の収益改善などにより、営業利益は、85.5%（2,105百万円）増の4,566百万円、経常利益は、主に為替差益の計上により、55.9%（2,151百万円）増の6,001百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、57.1%（1,794百万円）増の4,934百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の対米ドルの平均円レートは141円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(エネルギー)

二次電池は増収となりましたが、一次電池は車載用が増収となったものの電子機器向けが一部地域の経済停滞影響を受け減収となったことにより、エネルギー全体の売上高は、0.4%（78百万円）減の17,965百万円となりました。利益面では、一次電池の減収による影響に加え全固体電池の開発費及び量産体制構築費用の計上により、営業利益は、82.1%（781百万円）減の170百万円となりました。

(機能性部材料)

粘着テープは半導体工程用を中心に増収となりましたが、産業用部材の低迷の影響により、機能性部材料全体の売上高は、0.9%（126百万円）減の14,640百万円となりました。営業利益は、産業用部材が減収により減益となったものの、粘着テープが原材料費高騰の落ち着きと併せて価格反映による回収が進み増益となり、59.9%（200百万円）増の534百万円となりました。

(光学・システム)

自動車市場の回復の影響により車載光学部品が増収となったことに加え、第3四半期以降に計画されていたライセンス収入の前倒し計上もあり、光学・システム全体の売上高は、21.0%（3,841百万円）増の22,098百万円となりました。営業利益は、車載光学部品の増収とライセンス収入の計上により、98.4%（1,748百万円）増の3,524百万円となりました。

(ライフソリューション)

国内コンシューマー製品販売事業の移管によりコンシューマー製品や健康・理美容製品が減収となり、ライフソリューション全体の売上高は、22.8%（3,222百万円）減の10,917百万円となりました。営業利益は、BtoC事業の改革に加えて海外生産拠点の生産性向上が進んだことにより収益性が向上し、938百万円増の338百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末比0.5%増(以下の比較はこれに同じ)の168,989百万円となりました。このうち流動資産は、主に受取手形及び売掛金が増加したものの現金及び預金並びに棚卸資産の減少により、1.3%減の93,612百万円となり、総資産に占める割合は前連結会計年度の56.4%から55.4%となりました。一方、固定資産は、2.8%増の75,377百万円で、総資産に占める割合は前連結会計年度の43.6%から44.6%となりました。

(負債)

負債は、8.2%減の75,468百万円となりました。このうち流動負債は、主に1年内返済予定の長期借入金の増加により9.6%増の60,845百万円となりました。これによって流動比率は1.5倍に、また流動資産との差額である手持ち資金は32,767百万円となりました。一方、固定負債は、主に長期借入金の減少により45.3%減の14,623百万円となりました。

(純資産)

純資産は、8.8%増の93,521百万円となりました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,934百万円の計上及び為替換算調整勘定が2,793百万円増加したことによるものです。また、自己資本比率は49.2%から53.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、主に車載光学部品の増収とライセンス収入の前倒し計上により好調に推移しましたが、第3四半期以降は上述のライセンス収入の前倒しの影響やライフソリューション事業の一時費用の発生などにより、厳しくなると予想しております。

こうした状況を踏まえ、セグメント別に第3四半期以降の業績見通しも精査したうえで通期業績予想について再検討を行いました。売上高は130,000百万円(前回2023年4月27日発表との比較で3,000百万円減。以下の比較はこれに同じ)に修正を行いました。営業利益については合計額の修正は行っていません。親会社株主に帰属する当期純利益については5,800百万円(600百万円増)に修正を行いました。各セグメント別の修正内容については、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

ロシア・ウクライナ情勢や米中貿易摩擦の長期化、中近東情勢の急変など、グローバル経済の不透明感が続く事が予想される中で、当社としては、前回発表予想の営業利益7,500百万円の確保に向け第3四半期以降も尽力していきます。

セグメント別の通期業績予想につきましては、4ページの補足資料をご参照ください。

<補足資料>

(業績概要)

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2024年3月期 見通し	前年比 (%)
売上高	65,205	65,620	100.6	130,000	97.9
営業利益	2,461	4,566	185.5	7,500	133.0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,140	4,934	157.1	5,800	111.7

(セグメント別売上高・営業利益)

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2024年3月期 見通し	前年比 (%)
売上高	65,205	65,620 (100.0)	100.6	130,000 (100.0)	97.9
エネルギー	18,043	17,965 (27.4)	99.6	35,500 (27.3)	96.5
機能性部材料	14,766	14,640 (22.3)	99.1	30,600 (23.6)	104.5
光学・システム	18,257	22,098 (33.7)	121.0	41,900 (32.2)	111.8
ライフソリューション	14,139	10,917 (16.6)	77.2	22,000 (16.9)	75.2
営業損益	2,461	4,566 (100.0)	185.5	7,500 (100.0)	133.0
エネルギー	951	170 (3.7)	17.9	500 (6.7)	21.2
機能性部材料	334	534 (11.7)	159.9	1,600 (21.3)	185.4
光学・システム	1,776	3,524 (77.2)	198.4	5,400 (72.0)	138.9
ライフソリューション	△600	338 (7.4)	—	0 (—)	—

(カッコ内は構成比、単位：%)

(地域別売上高)

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)
海外売上高	27,860	31,434 (47.9)	112.8
米国	6,894	9,565 (14.6)	138.7
欧州	5,625	7,710 (11.7)	137.1
アジア他	15,341	14,159 (21.6)	92.3
国内売上高	37,345	34,186 (52.1)	91.5
売上高(合計)	65,205	65,620 (100.0)	100.6

(設備投資・減価償却費・研究開発費)

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2024年3月期 見通し	前年比 (%)
設備投資	1,358	2,915	214.7	8,000	209.2
減価償却費	2,329	2,379	102.1	5,400	114.0
研究開発費	3,171	2,625	82.8	6,500	101.6

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,170	36,025
受取手形及び売掛金	30,439	33,057
棚卸資産	22,476	21,051
その他	4,678	4,039
貸倒引当金	△926	△560
流動資産合計	94,837	93,612
固定資産		
有形固定資産		
土地	28,994	29,033
その他(純額)	22,550	23,658
有形固定資産合計	51,544	52,691
無形固定資産	4,697	4,626
投資その他の資産		
その他	17,190	18,161
貸倒引当金	△91	△101
投資その他の資産合計	17,099	18,060
固定資産合計	73,340	75,377
資産合計	168,177	168,989
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,421	17,735
1年内返済予定の長期借入金	8,123	13,029
未払法人税等	506	1,272
その他	28,444	28,809
流動負債合計	55,494	60,845
固定負債		
長期借入金	17,625	5,937
退職給付に係る負債	5,372	5,255
資産除去債務	434	435
その他	3,312	2,996
固定負債合計	26,743	14,623
負債合計	82,237	75,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,203	12,203
資本剰余金	22,951	22,953
利益剰余金	53,011	57,028
自己株式	△5,678	△5,648
株主資本合計	82,487	86,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334	740
為替換算調整勘定	1,781	4,574
退職給付に係る調整累計額	△1,786	△1,567
その他の包括利益累計額合計	329	3,747
非支配株主持分	3,124	3,238
純資産合計	85,940	93,521
負債純資産合計	168,177	168,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	65,205	65,620
売上原価	50,495	50,712
売上総利益	14,710	14,908
販売費及び一般管理費	12,249	10,342
営業利益	2,461	4,566
営業外収益		
受取利息	68	246
受取配当金	65	101
為替差益	1,209	1,120
その他	282	275
営業外収益合計	1,624	1,742
営業外費用		
支払利息	60	39
持分法による投資損失	38	101
その他	137	167
営業外費用合計	235	307
経常利益	3,850	6,001
特別利益		
固定資産売却益	130	5
その他	9	—
特別利益合計	139	5
特別損失		
固定資産除売却損	42	156
特別損失合計	42	156
税金等調整前四半期純利益	3,947	5,850
法人税等	671	935
四半期純利益	3,276	4,915
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	136	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,140	4,934

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,276	4,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	408
為替換算調整勘定	5,067	2,986
退職給付に係る調整額	257	219
その他の包括利益合計	5,166	3,613
四半期包括利益	8,442	8,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,076	8,352
非支配株主に係る四半期包括利益	366	176

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。